

校庭の桜のつぼみも膨らみ始め、春の訪れを感じさせるこの良き日に、富士高校を巣立っていかれる卒業生の皆さん、御卒業おめでとうございます。在校生一同、心よりお祝い申し上げます。

先輩方は今、3年間の思い出を一つ一つ振り返りながら、本日の卒業式を迎えていらっしゃると思います。思い返せば2年前、先輩方の姿は、私達にはとても大人びて見えて、私達の憧れでした。いつも不安でいっぱい私達の一步前を歩き、部活動や委員会では優しく、また時には厳しく導いてくださいました。

決して一般的なまた、普通の高校生活ではなく、この富士高校で約束されていた思い出も形を変えることになりました。

学年ごとでの体育祭、オンラインでの文化祭、私たち後輩以上に先輩方は苦しく、悔しい思いでいらっしゃるのではないかと思います。そんな中でも力を合わせ、富士高校での生活に全力を尽くしていらっしゃる先輩方の姿は輝いて見えとても印象に残っています。1枚板を挟んでの会話、授業であった高校生活だったからこそ先輩方との時間はよりかけがえのない大切なものとなりました。

私たちはその限られた先輩方との時間の中で、先輩方の笑顔を見ると、大きな安心感を感じていました。それは、真摯に自分自身と向き合い、自分の道を一步一步進んでいかれる大きな背中があったからだ先輩方との日々を振り返って思います。

この3年間、楽しいことも辛いことも沢山あったと思います。これからの先輩方の人生において、この富士高校で培った経験は、様々な課題を解決していくための大きな糧になると信じています。先輩方と過ごした日々は私達にとって大切な思い出です。先輩方が築き上げて来られたこの富士の良き伝統を私たちが受け継いでいきたいと思います。先輩方の益々の御活躍と御多幸をお祈りして贈る言葉とさせていただきます。

令和四年三月四日

在校生代表

小西潤弥